

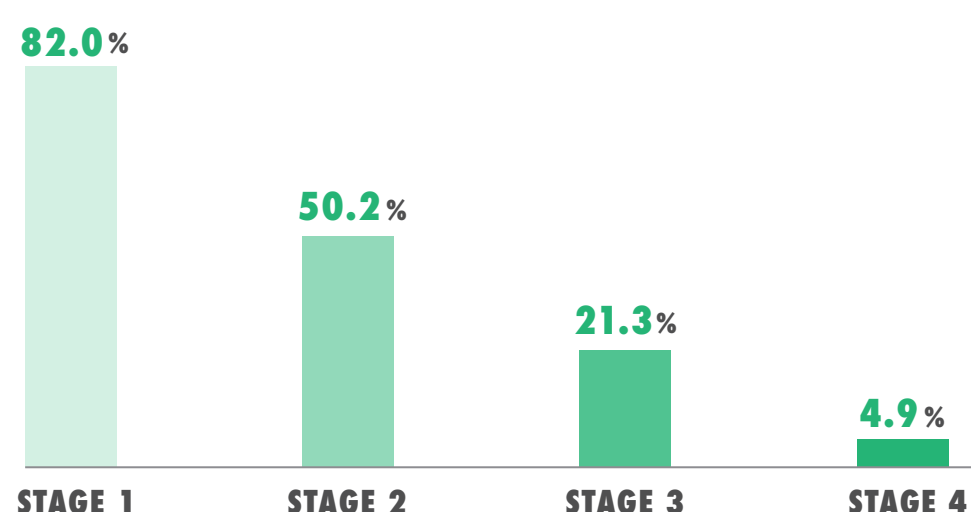
当院では、 「AIサポート型 肺がん診断」 を導入しています。



肺がん検査の重要性

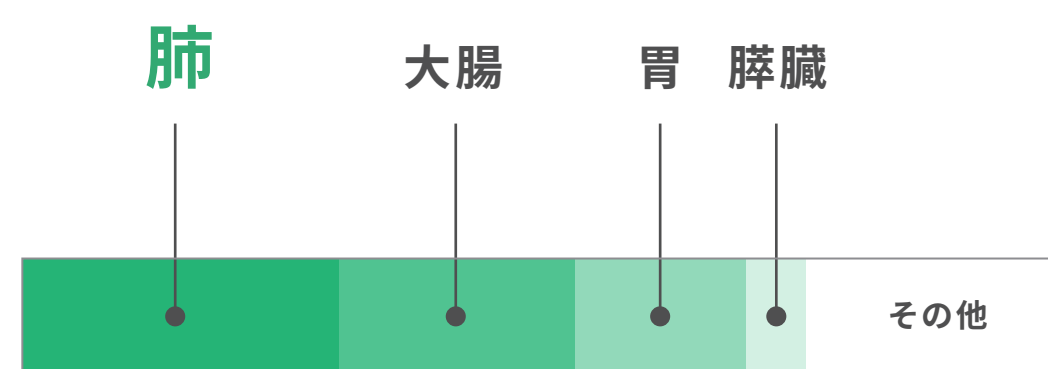
肺がんステージ別 5 年生存率

がんが進行するにつれて、発見後の生存率が大きく下がります。早期発見のために、定期的な肺がん検診の受診が推奨されています。



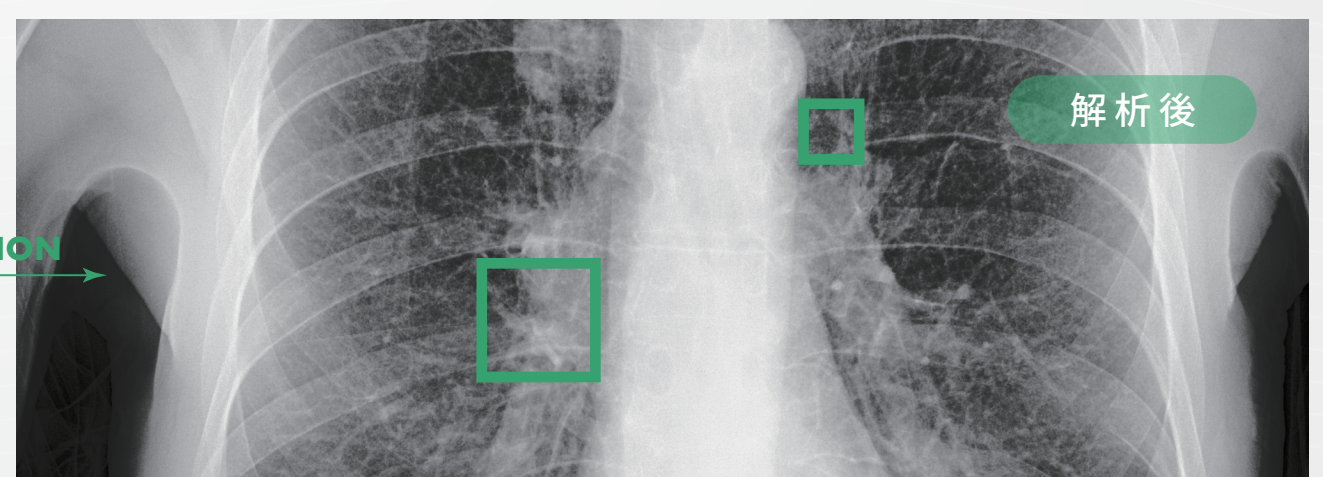
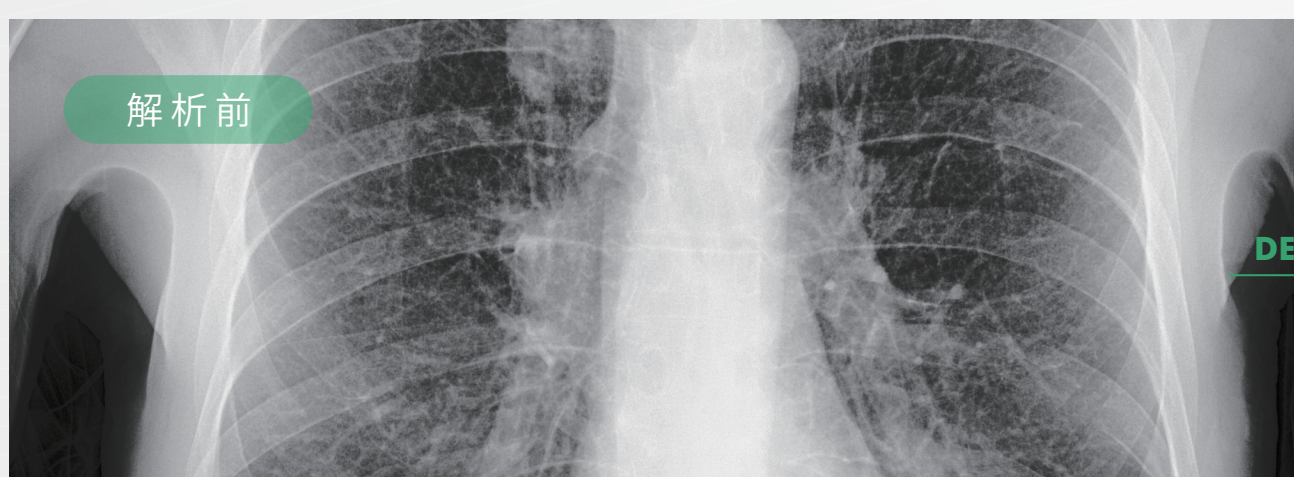
死亡要因の割合

日本における死因の第1位はがんで、その中でも部位別がん死亡率の第1位は「肺がん」です。



AIサポート型 肺がん診断とは

AI が肺結節候補領域を検出して、医師の診断をサポートします。医師単独で診断をする場合と比べて、検出率が **9.95% 向上** します。



※1 肺結節とは

X線画像では、空気は黒く、骨・筋肉・血液などの水分は白く写ります。通常は黒く映る部分が白く見えた場合、それを「結節影」と呼び、肺がん、肺結核、肺炎などの可能性が疑われます。定期健康診断などで実施される胸部X線検査において、そういった「結節影」が見られた場合には、精密検査によって確認をする必要があります。